

rTaq DNA Polymerase Hot Start &lt;Glycerol Free&gt;



作成：2020年10月16日  
改訂：2022年03月30日  
整理番号：3200A

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

|              |   |
|--------------|---|
| 化学品の名称       | rTaq DNA Polymerase Hot Start <Glycerol Free> |
| 製品コード        | TAP-319GF, TAP-329GF, TAP-359GF               |
| 供給者の会社名称     | 東洋紡株式会社                                       |
| 住所           | 大阪市北区堂島浜二丁目2番8号                               |
| 担当部門         | バイオプロダクト営業部                                   |
| 電話番号         | 06-6348-3786                                  |
| FAX番号        | 06-6348-3833                                  |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 遺伝子増幅（研究用試薬）                                  |

### 2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響  
健康有害性

通常の状態では人の健康に対する有害な影響は小さいが、有害性の調査が十分ではないので、取扱いには注意する。

GHS分類

GHS分類に該当しない

### 3. 組成及び成分情報

|   |                       |              |
|---|-----------------------|--------------|
| 化学物質/混合物                                      | 混合物                   |              |
| 化学特性  | 酵素の水溶液                |              |
| パーツ名  | 主要成分                  | CAS No.      |
| rTaq DNA Polymerase Hot Start <Glycerol Free> | 酵素                    | (EC 2.7.7.7) |
|   | 抗Taq抗体                | -            |
|   | ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート | 9005-64-5    |

危険有害成分

|              |                               |
|--------------|-------------------------------|
| 化学名又は一般名     | ポリオキシエチレン<br>ソルビタンモノラウ<br>レート |
| 別名           | Tween20                       |
| CAS番号        | 9005-64-5                     |
| 官報公示整理番号 化審法 | 8-55                          |
| 安衛法          | 公表                            |
| 濃度又は濃度範囲     | 0.50%                         |

### 4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪くなった場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

多量の水で十分洗い流す。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。

飲み込んだ場合

水で口をすすぎ、無理に吐かせない。気分が悪い時は医師の診断、手当てを受ける。



作成：2020年10月16日  
改訂：2022年03月30日  
整理番号：3200A

## 安全データシート

### 5. 火災時の措置

|           |                        |
|-----------|------------------------|
| 消火剤       | 水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤     |
| 特有の消火方法   | 消火は風上側から行う。            |
| 消火を行う者の保護 | 大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。 |

### 6. 漏出時の措置

|                      |  |
|----------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具、緊急時措置 | 作業を行う際は保護具を着用し、眼・皮膚への接触や吸入を避けるように注意する。               |
| 環境に対する注意事項           | 直接河川など環境中に放出しない。                                     |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機械      | 可能な限り、減圧で吸引したり、ウェスなどに吸収させて密閉式の空容器に回収し、その後、大量の水で洗い流す。 |

### 7. 取扱い及び保管上の注意

|           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| 取扱い       |                                    |
| 技術的対策     | 人体への接触を避けるよう十分に注意する。               |
| 安全取扱い注意事項 | 器具の破損に留意して操作する。                    |
| 接触回避      | 酸化剤との接触を避ける。                       |
| 衛生対策      | 取扱い後は手を充分洗浄する。取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。 |
| 保管        |                                    |
| 安全な保管条件   | 密閉容器にて-20℃で保管する。                   |
| 安全な容器包装材料 | 本製品に使用されている容器内で保管する。               |

### 8. ばく露防止及び保護措置

|             |                               |
|-------------|-------------------------------|
| 許容濃度        | ポリオキシエチレン<br>ソルビタンモノラウ<br>レート |
| 日本産業衛生学会勧告値 | 設定されていない                      |
| ACGIH TLV   | 設定されていない                      |
| OSHA PEL    | 設定されていない                      |
| 保護具         |                               |
| 呼吸用保護具      | 必要に応じて防塵マスクを着用する。             |
| 手の保護具       | ゴム手袋を着用する。                    |
| 眼の保護具       | 保護眼鏡を着用する。                    |
| 皮膚及び身体の保護具  | 必要に応じて保護衣等を着用する。              |

### 9. 物理的及び化学的性質

|                |                     |
|----------------|---------------------|
| 外観(物理的状态、形状、色) | 0℃以下で固体。無色透明。       |
| 臭い             | 無臭                  |
| pH             | 7.0~9.0             |
| 引火点            | 水溶液のため引火性はないと考えられる。 |
| 爆発特性           | 爆発性なし               |
| 比重             | 1.0-1.2             |
| 溶解性            | 水に可溶                |



作成：2020年10月16日  
改訂：2022年03月30日  
整理番号：3200A

## 安全データシート

### 1 0. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性、危険有害反応可能性 -20℃以下で安定である。常温では徐々に分解するが危険な反応はない。  
避けるべき条件 高温、直射日光、火災などによる強熱  
混合危険物質 強酸化剤、還元剤  
危険有害な分解生成物 知見なし

### 1 1. 有害性情報

急性毒性 具体的なデータはないが、急性毒性は低いと考える。  
局所効果 同上

### 1 2. 環境影響情報

生態毒性 データなし  
残留性・分解性 生分解性あり  
生体蓄積性 データなし  
土壤中の移動性 水溶性あり、水系に拡散する。  
オゾン層への有害性 データなし  
他の有害影響 データなし

### 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理委託することが好ましい。本製品は活性汚泥処理を行うことができる。焼却する場合には、焼却設備により大気汚染防止法令等に従い、おがくずなどに吸収させて焼却炉で少しずつ焼却する。  
汚染容器及び包装 その施設・地域の廃棄規則に準じて廃棄する。

### 1 4. 輸送上の注意

国際規制 非危険物  
輸送の特別の安全対策 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
国内規則 非危険物

### 1 5. 適用法令

法規定 なし

### 1 6. その他の情報

参考文献  
制約事項 製品評価技術基盤機構Chemical Risk Information Platform (CHRIP) 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実用を前提としたものですので、特別の実用を要する場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。